

「社会連携・社会貢献に関する方針」

学校法人東海大学「学園マスタープラン」において、「学園のあるべき姿【目的】」の一つである「連携」について、「総合学園としてのリソースを余すところなく活用し、集いと交流を通して教育・研究の成果を広く社会に還元し、よりよい地域社会、国家、国際社会づくりに寄与します。」と明示されている。

本学では、その主旨に基づき、社会連携・社会貢献に関する方針を次のとおり定める。

1. 地域社会のニーズに対応し、大学の多様なリソースを提供還元することにより、地域との連携を推進し、地域社会の価値を高めるとともに、地域社会が抱える課題の解決に貢献する。
2. 本学の特色を生かし、全国の各キャンパスにおける教育・研究活動を連携させ、その成果を広く社会に還元し、新たな価値の創造に貢献するために、「東海大学の産官学連携に関するビジョン」を定め、積極的に産官学連携を推進する。
3. 国際的な恒久平和の実現を希求するという目的のもと、グローバル・ユニバーシティとして多様な価値観を尊重し、学術・文化、スポーツなどの交流を通じて国や政治の壁を超えた国際協調と相互理解に貢献する活動を展開する。
4. 正課及び正課外の教育プログラムにおいて、社会や地域との連携を強く意識したパブリック・アチーブメント教育（シティズンシップ教育）を積極的に実践し、広く社会や地域社会の課題解決に寄与できる有用な人材を育成し、社会への貢献に努める。